※令和４年度以降入学生用

学校番号	203

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理探究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新詳「地理探究」（帝国書院）　新詳高等地図(帝国書院)						
副教材等	「新詳地理資料 COMPLETE2024」　（帝国書院） 「ニューコンパスノート地理 2026」（東京法令出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理の勉強というと、やみくもに国名・地名などの暗記のような知識偏重の学習を想像しがちですが、知識と思考は地理学習の両輪です。知識があるから地理的な思考ができるのと同様に、思考力があるから地理的知識を頭の中で整理して、論理立てたり、系統立てたりできるのです。地理探究では、遠く離れた地域の人々の生活様式や文物のつながりを、自然環境や歴史事象と関連付けて勉強します。世界の人々とつながって、これからの社会を生きていくためにも、有用な時間になればよいと願っています。

2　学習の到達目標

① 現代世界の地理的事象を系統地理的に考察し，地理的認識を養います。
② １年次の地理総合で取り上げられなかった諸地域を、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し，地理的認識を養います。
③ 地理的な見方や考え方を培い，国際社会に主体的に生きる市民としての自覚と資質を養います。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。 地図や統計，画像など地域に関する諸資料を収集し，有用な情報を選択，活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付ける。	現代世界の地理的事象から課題を見いだし，地域性を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに，国際社会の変化を踏まえて公正に判断し，考察の過程や判断した結果を適切に表現する。	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め，それを意識的に追究するとともに，国際社会に主体的に生きる責任を果たそうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	自然と生活・環境問題	地形や気候などの自然環境が居住する人々の生活様式、生活文化にどのような影響を与えているかを考察する。それぞれの環境問題について，各種資料で発生の経緯や分布を確認し，現状や今後の対策について考察する。	a:基本的知識に加え、教科書の記述や資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能が身についている。 b:自然環境と生活様式の関連、環境問題発生の原因と背景、結果や対策について考察し、問いを表現できる。 c:授業に参加し、協働して活動する中でもっと知りたいと思ったこと、疑問に思うことを具体化、言語化できている。	定期考査	ワークシート 定期考査	授業観察 振り返り 意見提出
	資源と産業	世界の交通・通信・貿易・観光等の特徴や発達，グローバル化する変化，現代の流通・消費とその課題を考察する。工業の種類と立地，歴史的な変容について，具体的な事例を通して考察する。資源・エネルギーに関して、分布図や統計資料を活用し，その特色や変容について考察、分析する。	a:基本的知識に加え、教科書の記述や資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能が身についている。 b:産業構造とその変容について具体的な事例を交えて考察し、問いを表現できる。 c:授業に参加し、協働して活動する中でもっと知りたいと思ったこと、疑問に思うことを具体化、言語化できている。	定期考査	ワークシート 定期考査	授業観察 振り返り 意見提出
二学期	人口と村落・都市	世界の村落・都市に関する分布や変化、都市の成立要因や発展過程に着目し，具体的事例を踏まえながらその特徴や機能を類型化するとともに、都市問題の課題を考察する。人口の分布と変化に着目し、人口問題を経済的な側面から考察する。	a: 基本的知識に加え、教科書の記述や資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能が身についている。 b:人口問題と都市問題の背景、課題と対策について考察し、問いを表現できる。 c:授業に参加し、協働して活動する中でもっと知りたいと思ったこと、疑問に思うことを具体化、言語化できている。	定期考査	ワークシート 定期考査	授業観察 振り返り 意見提出

※令和４年度以降入学生用

三学期	民族と宗教	世界の民族・宗教の分布について基礎的・基本的な知識や概念を理解する。宗教と生活文化のかかわりを考察する。	a:基本的知識に加え、教科書の記述や資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能が身についている。 b:世界の民族と宗教分布、歴史的な成り立ち、相互の対立とその背景について考察できる。 c:授業に参加し、協働して活動する中でもっと知りたいと思ったこと、疑問に思うことを具体化、言語化できている。	定期考査	ワークシート 定期考査	授業観察 振り返り 意見提出
	国家の領域と領土問題	国家の持つ領域、国家の形態に関して基礎的な概念を理解し、世界における国家や国境の種類、またそれが抱える諸問題を考察する。また、日本の領域と領土の問題について考察・分析する。	a:基本的知識に加え、教科書の記述や資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能が身についている。 b:世界及び日本の領域をめぐる諸問題について考察できる。 c:授業に参加し、協働して活動する中で日本の領土問題について考えたことを具体化できる。	定期考査	ワークシート 定期考査	授業観察 振り返り 意見提出
	現代世界の地誌的考察	各地域の自然，資源・産業，民族・文化、歴史的背景，産業・生活の変化，資源開発，世界との結びつきを考察する。各地域が抱える課題について考察する。	a:基本的知識に加え、教科書の記述や資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能が身についている。 b:世界の諸地域に暮らす人々の生活、社会の変容について自然環境、社会環境と関連付けて考察し、問いを表現できる。 c:授業に参加し、協働して活動する中でもっと知りたいと思ったこと、疑問に思うことを具体化、言語化できている。	定期考査	ワークシート 定期考査	授業観察 振り返り 意見提出
				レポート	レポート	レポート 振り返り
	現代世界におけるこれからの日本の国土像	日本が抱える地理的な諸課題を、これまでの内容を踏まえて理解し、考察・分析する。 諸課題の解決を通して、仮説を立てて検証し、結論を導く探究の手法を理解する。	a:日本の自然に関する知識、資源・産業・都市・人口に関する知識を活用し、将来の日本の国土像を理解する。 b:日本の国土が抱える課題と、身近な生活環境を関連付けて考察・分析し、表現できる。 c:授業に参加し、協働して活動する中でもっと知りたいと思ったこと、疑問に思うことを具体化、言語化できている。	レポート	レポート	発表 レポート 振り返り